

令和3年度

社会福祉法人南陽会
事業報告書

社会福祉法人南陽会

令和3年度

事業報告書目次

【目次】

法人運営報告	P1～7
1 法人運営の概要	P1
2 理事会・評議員会・監事監査の開催	P2～3
3 研修関係	P3～4
4 補助金関係	P4
5 寄付	P4
6 登記事項・定款変更	P4
7 人事管理	P5
8 福利厚生	P5
9 財務管理	P6
10 主な施設・設備等の整備	P6
11 法人全体の共通の取り組み	P6～7
各事業所 事業報告	P8～33
1 障がい者支援施設あかまつ荘	P8～13
2 下郷作業所ホイップ	P14～17
3 すみれ荘	P18～22
4 只見地域活動支援センターじねえんと	P23～25
5 みなみあいづ障がい者相談センター	P26～29
6 こまどり荘	P30～33

〈社会福祉法人南陽会 法人運営報告〉

1、法人運営の概要

令和3年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、予定された行事等については外部の方の参加を取りやめて事業所内での活動行事に切り替えざるを得ない状況であった。ただし、そのような中でも利用者支援に関しては感染防止を行いつつ最大限に取り組み南陽会の運営理念及び運営方針に従い、且つ南陽会の年度事業計画に基づき、福祉情勢の変化に即応した主体的で安定した運営を目指し実施した。施設体系及び管理体制づくり、サービス事業の拡充、財務確保・経営事務の精度向上を行い、利用者へより充実したサービス提供を行うために努力を行った。また、理事会、評議員会では書面評決という選択肢もあった中で、委員の方全員の体調等の状況を確認しながら三密を避けられる体制を整えながら、南陽会の定款に基づいて会議を実施し法人運営に努めてきた。

利用者サービス事業については、障がい者支援施設あかまつ荘では「施設から地域へ」を前年同様に主眼に置いて地域生活移行に取り組む予定でございましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で体験利用等も中止となり地域移行することが出来なかった。ただし、新型コロナウイルス感染症の対応として、緊急的なショートステイ利用の希望があった場合には、感染状況等を勘案して利用日前2週間の健康管理と行動チェックを実施していただき、特変が無ければ利用開始するという事を定めた。

事業運営に関しては、入所施設1、通所事業所1、グループホーム6、相談事業所1、市町村委託事業（只見町）通所事業1を昨年同様に行ったが、グループホームさくら荘に関しては昨年度より利用者がゼロとなったことから引き続き休所としている。

各事業所の詳細で報告すると、障がい者支援施設あかまつ荘においては、「施設から地域へ」を主眼に置いて地域生活移行を目指したが、新型コロナウイルス感染症の感染という事も危惧し実施出来なかった。また、4月から短期入所していた男子利用者が11月から正規入所となり満床となった。

グループホームに関しては男性の利用希望者が多く、定員が満床となっていることから受け入れが難しい状況になっている。さくら荘に関しては利用希望者が無い事から昨年に引き続き休所とした。

下郷作業所ホイップに関しては、就労継続支援B型事業と就労移行支援事業と二つの事業を行い、昨年同様に就労事業所の役割で活動してきた中で、支援学校卒業生の受入に関しても新型コロナウイルス感染症における対応を見極めつつ、万全の対策に基づいて実施しました。利用受け入れに関しても2名の支援学校卒業生を受け入れました。また、昨年一般就労した利用者のその後についても、離職する事なく継続就労が出来ている。また今後に向けては、障がいの重い方の利用も視野に入れて、通所の生活介護事業所等の事業展開を検討して行きたい。

只見町地域活動支援センターについては、契約者は定員を超えているが、日常的に利用されている方が一日10名程度に増加しつつあります。令和3年度は只見町のプロポーザル実施後2年目となり、事業の見直しを図る機会ではないかとの事で、令和4年度に向けて日課及び作業等の見直しを図るべく検討を行い次年度に向けて実施していきたい。

こまどり荘に関しては、男性利用者1名があかまつ荘へ入所となった事から1名の空きが出来た。また、高齢化と重度化が進みグループホームでの生活が徐々に難しくなっている方が出ている。男性利用者1名(70歳代)の方は介護施設へ入所希望を提出した。また女性利用者(50歳代)の方は、出身市町村の近くの入所施設を希望し入所申請を進めている所である。その他の方では、男性利用者1名は介護施設の介護助手として一般就労している。その他の方3名は特に変わりなく生活できており、日中は只見町地域活動支援センターへ通っている。

経理部門では昨年同様、南会津町の宍戸会計事務所と契約を行い、月に一度の経理及び財務状況の把握に努め経理及び庶務の効率化を図った。

2、理事会・評議員会・監事監査の開催

理事会回数	開催日	出席者人数	議題
第1回理事会	令和3年6月8日	理事6名 監事2名	令和2年度社会福祉法人南陽会事業報告について 令和2年度社会福祉法人南陽会一般会計収支決算報告について 令和3年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第1号)について 理事・監事候補者の選任について 社会福祉法人南陽会評議員選任・解任委員の選任について 社会福祉法人南陽会第三者委員の選任について 令和3年度社会福祉法人南陽会第1回評議員会の開催について
第2回理事会	令和3年6月22日	理事5名 欠席者1名 監事1名	社会福祉法人南陽会理事長の選任について 社会福祉法人南陽会副理事長の選任について 社会福祉法人南陽会評議員の推薦について
第3回理事会	令和3年9月28日	理事6名 監事1名	令和3年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第2号)について 機械浴槽の業者選定について
第4回理事会	令和3年10月13日	書面決議	社会福祉法人南陽会賃金支弁職員の雇用等に関する規程の一部改正について
第5回理事会	令和3年12月24日	理事5名 欠席者1名 監事2名	令和3年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第3号)について 社会福祉法人南陽会就業規則の一部改正について 社会福祉法人南陽会障がい者支援施設あかまつ荘運営規程の一部改正について 社会福祉法人南陽会一般相談支援事業みなみあいづ障がい者相談センター運営規程の一部改正について 社会福祉法人南陽会特定・障害児相談支援事業みなみあいづ障がい者相談センター運営規程の一部改正について 社会福祉法人南陽会障がい者支援サービス事業所下郷作業所ホイップ運営規程の一部改正について 給与規程の一部改正について
第6回理事会	令和4年3月29日	理事6名 監事2名	令和3年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第4号)について 給与規程の一部改正について 社会福祉法人南陽会賃金支弁職員の雇用等に関する規程の一部改正について 社会福祉法人南陽会すみれ荘運営規程の一部改正について 社会福祉法人南陽会下郷作業所ホイップ運営規程の一部改正について 社会福祉法人南陽会あかまつ荘の高圧電力供給会社の変更契約について 令和4年度社会福祉法人南陽会事業計画(案)について 令和4年度社会福祉法人南陽会一般会計収支予算(案)について 令和3年度社会福祉法人南陽会第1回評議員会の開催について
評議員会回数	開催日	出席者人数	議題
第1回評議員会	令和3年6月22日	評議員6名 欠席者1名 監事1名	令和2年度社会福祉法人南陽会事業報告について 令和2年度社会福祉法人南陽会一般会計収支決算報告について 令和3年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第1号)について 理事・監事の選任について
第2回評議員会	令和3年12月24日	評議員5名 欠席者2名	令和2年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(案)(第2号)について
第3回評議員会	令和4年3月29日	評議員6名 欠席者1名	令和3年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第4号)について 令和4年度社会福祉法人南陽会事業計画(案)について 令和4年度社会福祉法人南陽会一般会計収支予算(案)について

法人監査	開催日	出席者人数	議題
第1回法人監査	令和3年6月2日	監事2名	法人監査
評議員選任解任委員会	開催日	出席者人数	内容
評議員選任会議	令和3年6月22日	委員3名	評議員の退任に伴う選任

3、研修関係

開催月	研修内容	出席者
4月	福島県知的障害施設協会及び県サポート協会理事会	施設長
	福島県知的障害施設協会総会	
	会津若松社会保険委員会南会津支部定例会（書面開催）	渡部事務主事
	福島県精神保健福祉協会監事監査	施設長
5月	南会津精神保健福祉協会役員会（書面開催）	施設長
	県社協障がい児者連絡協議会総会（書面開催）	
	県サポート協会代議員総会	
	下郷町社協理事会（2回）	ホイップ管理者
	全国知的障害児者生活サポート協会社員総会（書面開催）	施設長
	安全運転管理者協会総会（書面開催）	
	福島県授産事業振興会役員会	
只見町社協評議員会	只見地活センター管理者	
6月	東北地区知的障害者福祉協会臨時総会（書面開催）	施設長
	南会津町社協評議員会	
	昭和電工アルミ缶リサイクル表彰式	
	南会津地方地域自立支援協議会運営会議・総会	
	福島県障がい者スポーツ協会理事会（書面開催）	
8月	福島県知的障害者福祉協会事務局会議	施設長
	パラリンピック採火式	施設長、ホイップ職員
	南会津地区基幹相談センター説明会	施設長、相談事業所職員
9月	社会福祉法人安積愛育園新事業所開所式	施設長
	下郷町社協理事会	ホイップ管理者
	昭和電工記念品贈呈式	理事長、施設長
10月	ペアレントプログラム事業（県委託事業）計6回実施	施設長、相談事業所職員
	安全運転管理者講習会	施設長
	福島県知的障害者福祉協会正副会長会議	施設長
11月	南会津地区基幹相談センター説明会	施設長、相談事業所職員
	東北地区知的障害者福祉協会フォーラム（web会議）	施設長
	南会津地方地域自立支援協議会研修会	施設長、相談事業所職員
12月	福島県知的障害者福祉協会理事会、施設長・管理者等第2回総会	施設長
	下郷町社協理事会	ホイップ管理者
	ペアレントプログラム事業終了式	施設長、相談事業所職員
	南会津町社協評議員会	施設長

1月	南会津町新年町民交歓会	理事長、施設長
	下郷町四法人会議	施設長、ホイップ管理者
	東北地区知的障害者福祉協会理事会（web会議）	施設長
	福島県知的障害者福祉協会事務局会議	
2月	ふくしまSDGs推進フォーラム	施設長
	日本知的障害者福祉協会会長・事務局長会議	
3月	福島県障がい者社会参加推進協議会（書面開催）	施設長
	福島県知的障害者福祉協会正副会長会議	
	下郷町4法人連絡会議	施設長、ホイップ管理者
	下郷町介護保険事業運営協議会	施設長
	南会津町社協評議員会	
	南会津町成年後見センター運営会議	
	下郷町社協理事会	ホイップ管理者
	福島県授産事業振興会理事会	施設長
	福島県障がい者スポーツ協会理事会（書面開催）	
只見町社協評議員会	只見地活センター管理者	

4、補助金関係

補助事業名	内 容	交付決定日	補助金額総額	事業完了品日
赤い羽根共同募金	あかまつ荘 電動ベッド3台	令和3年4月1日	360,000円	令和3年9月18日
日本財団	機械浴槽セット	令和3年4月1日	4,073,000円	令和3年10月27日

5、寄付

項 目	日 時	内 容
保護者 松村峰雄 様	令和3年4月3日	2,000円
保護者 菅野顕光様より寄付金	令和3年5月21日	100,000円
昭和電工アルミ缶リサイクル大賞副賞	令和3年6月29日	20,000円
星俊一 様	令和3年9月2日	8,000円
昭和電工	令和3年9月22日	ミスト付冷風機2台、コードレス掃除機1台
田島ロータリークラブ様よりクリスマスケーキ寄贈	令和3年12月25日	全利用者様分（ケーキ・プリン各100個）
空き缶の寄贈（あかまつ荘、ホイップに寄贈）	常 時	アルミ缶リサイクル活動に使用

6、登記事項・定款変更

月 日	項 目	金 額
令和3年4月6日	労働基準監督署へ時間外労働に関する協定書の届け出提出	
令和3年4月12日	南会津町・下郷町へ軽自動車税減免申請書提出	
令和3年4月27日	福島県税事務所へ自動車税減免申請書提出	
令和3年6月23日	法務局へ資産変更登記提出（郵送、速達）	431,687,730
令和3年6月24日	田島税務署へ公益法人の損益計算書を提出	
令和3年6月30日	法務局へ理事長の重任登記申請書を郵送する。（6/22日から2週間以内）	
令和3年6月30日	現況報告書、監事監査報告書を県に提出	

7、人事管理

人 数	(退職者・新規者・異動・正規職員採用など)
① 退職者 11名 (臨時8名)	6月退職 相談事業所管理者 洗濯員 (あかまつ荘パート) 事務 (あかまつ荘)
	8月退職 作業指導員 (あかまつ荘)
	10月退職 世話人2名 (GH すみれ荘、こまどり荘)
	11月退職 栄養士 (ホイップ)
	12月退職 作業指導員 (あかまつ荘)
	2月退職 看護師 (あかまつ荘パート)
	任 期 満 了
② 新採用者 12名 (臨時9名)	3月退職 作業指導員 (あかまつ荘パート)
	契 約 解 除
	2月退職 世話人 (GH すみれ荘)
	正 規 職 員 採 用
② 新採用者 12名 (臨時9名)	7月採用 看護師 (あかまつ荘)
	8月採用 事務 (あかまつ荘)
	1月採用 看護師 (あかまつ荘 → すみれ荘)
	臨 時 雇 用
	4月採用 作業指導員 (あかまつ荘パート) 作業指導員 (じねえんと)
	7月採用 作業指導員2名 (ホイップフルタイム、パート各1名) 相談員 (相談事業所パート)
	8月採用 作業指導員 (あかまつ荘パート)
	10月採用 栄養士 (ホイップパート)
	1月採用 作業指導員 (あかまつ荘)
	2月採用 作業指導員 (あかまつ荘パート)
③ 人事異動 (1件)	じねえんと生活支援員 → こまどり荘生活支援員
④ 業務変更 (1件)	あかまつ荘園長 → あかまつ荘園長兼相談センター管理者
職員採用試験	令和3年6月1日(日) AM10:00～ 筆記試験、面接試験 (看護師)
	令和3年7月1日(日) AM10:00～ 筆記試験、面接試験 (事務)
	令和3年9月1日(日) AM10:00～ 筆記試験、面接試験 (看護師)
	令和3年11月28日(日) AM10:00～ 筆記試験、面接試験 (支援員) 令和4年4月1日採用 合格者3名
	その他、臨時職員の採用試験については随時面接試験を実施

8、福利厚生

項 目	内 容
健診・予防注射代負担	定期健康診断及びインフルエンザ予防注射代を負担した。
職員クラブへの助成	新型コロナウイルス感染症の影響によりクラブへの助成は行わなかった。
職免休暇、資格報奨金	資格取得推進のため研修日の職免休暇付与、資格取得報奨金を支給した。

職員処遇の配慮	職員用駐車場を借り上げた。業務災害総合保険に加入した。 制服及び作業着の支給を実施した。 新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒用携行ボトルを支給した。
---------	---

9、財務管理

項目	内容
会計管理体制の整備 ・運用状況の点検	安定的に継続した活動が行えるように、宍戸会計事務所に財務会計に関する事務（決算事務、帳簿）の定期的なサポートを委任した。

10、主な施設・設備等の整備

項目	内容
あかまつ荘	機械浴槽、電動ベッド3台
ホイップ	作業場兼倉庫に非常通報設備設置

11、法人全体の共通の取り組み

(1) 人権擁護委員会

①活動内容

- ・「職員倫理綱領」、「職員行動規範」、「虐待防止マニュアル」の周知、定期的な聞取り、点検を実施
- ・虐待防止チェックリストの確認を職員会議の中で周知した。
- ・障がい者施設関係の権利擁護に関する取り組みについて協力をした。

②年間実施内容

開催月	内容	備考
毎月	各事業所にて人権擁護に関する内容を確認	全職員
6月	福島県障がい児者福祉施設協議会人権倫理委員会	担当者研修に参加、伝達講習の実施
1月	福島県知的障害者福祉協会人権倫理委員会へのアンケート協力	担当者が協力

(2) 苦情解決委員会

①活動内容

- ・各事業所にて毎月のスタッフ会議にて苦情受付、内容検証、経過追跡、最終結果の確認を行い、適切な対応に努めた。

開催月	内容	備考(出席者)
第三者委員会 9月28日	委嘱状交付 各事業所の活動状況について説明 苦情受付状況についての報告	苦情解決第三者委員4名 苦情解決責任者(園長) 苦情受付担当者(各事業所から1名)

②年間実施内容

開催月	内容	備考
毎月	各事業所にて苦情解決に関する内容を報告、確認	全職員
11月	福祉サービスに関する苦情解決研修会	担当者研修に参加、伝達講習の実施

(3) 法人全体その他の委員会

名称	業務内容	実施時期
給食委員会	食事に関すること(給食委員)	毎月のスタッフ会議
保健委員会	保健衛生、感染症予防に関すること(保健委員)	毎月のスタッフ会議

(4) 法人全体・共通の会議・研修等

名 称	業 務 内 容	実施時期
＜法人会議・研修＞		
職員会議	法人全職員に関する会議（全職員）	9月、3月
あかまつ荘職員会議	あかまつ荘の職員会議（支援員、事務厨房、看護・栄養士）	毎月
法人全体研修	法人全職員での研修（全職員）	11月
代表者会議	法人事業の運営会（理事長、管理者、専門生活員、主任生活員）	毎月
＜事業所毎の会議・研修＞		
支援会議	利用者支援に関する会議（各事業所内の職員）	毎月
スタッフ会議	各事業所での行事予定、課題検討（各事業所内の職員）	毎月
伝達講習会議	各事業所での伝達講習（各事業所内の職員）	毎月
申し送り	各事業での朝・夕の申し送り（各事業所内の職員）	毎日
＜利用者、保護者の会議＞		
自治会	利用者自らの主体的な企画・運営（利用者、担当職員）	毎月
保護者会	保護者の親睦・交流、事業所支援 ●4月3日：役員会 ●8月18日：花火大会 ●11月20日：奉仕活動●12月25日：クリスマス・忘年会	4回

(5) 公益的取組

下郷町の四か所の社会福祉法人(南陽会、下郷町社会福祉協議会、南会津会、明智福祉会)合同で公益的取組を今年も行った。(4年目の取り組み)

・会議打ち合わせ

令和3年3月24日…令和3年度の活動についての話し合い。

令和4年1月18日…令和3年度の活動報告について

令和4年3月17日…令和4年度の事業打合せ及び活動計画について

- 1) 買い物支援サービス…高齢者のみの世帯及び障がい者世帯を対象に、下郷町内のスーパー等へ送迎を行った。期間：令和3年4月8日～12月24日まで

法人名	延べ利用者	実利用者	送迎日数
下郷作業所ホイップ	115名	10名	17日間
(特養) 下郷ホーム	129名	11名	18日間
(特養) レジデンスふじの郷	108名	8名	18日間
下郷町社会福祉協議会	106名	9名	18日間
合 計	458名	38名	71日間

- 2) サマーショートボランティア

当初は町内の4法人の事業所において、小学生、中学生、高校生を対象に介護ボランティア等の体験を実施する予定でいたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から中止とした。

障害者支援施設 あかまつ荘

1、事業概要

施設入所支援	施設に入所されている方々の夜間や休日において入浴、排泄、食事の介護等や余暇支援を提供した
生活介護	常に介護を必要とする方に入浴、排泄、食事の介護等を提供すると共に創作活動又は、生活活動の機会を提供した
短期入所	在宅生活者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする利用者に入浴排泄及び食事の介護その他の必要な支援を提供した

2、職員配置

事業所名	職 種	員 数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
障害者支援施設 あかまつ荘	管 理 者	1		1			
	サービスマニージャー	1	1				
	主任生活支援員	1	1				
	生活支援員	5	5				
	作業指導員	12	6		6		非常勤：8時間以内勤務
	事務	4	4				
	看護師	3	1	1	1		
	栄養士	1	1				
厨 房	6	5		1			
合 計		34	24	2	8		

(令和4年3月末現在)

3、利用者の状況 (令和4年3月末現在)

(1) 利用者数

事業名/性別	男性	女性	合計
施設入所支援	28人	16人	44人
生活介護	26人	15人	41人
短期入所	2人	1人	3人

※3/16に1名亡くなられたため、上記の人数となっている。4月に1名入所予定となっている。

(2) 障害状況

ア障害名

事業名/種別	身体	知的	精神	その他	合計
施設入所支援	12人	41人	2人	0人	55人
生活介護	12人	37人	2人	0人	51人
短期入所	0人	2人	1人	0人	3人

※重複障害者を含む

イ障害支援区分

事業名／区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし	平均
施設入所支援	0人	0人	2人	14人	11人	17人	0人	4.97
短期入所	0人	0人	0人	2人	1人	0人	0人	4.33

(3) 年間利用状況

事業名／利用項目	延べ利用日数	定員	延べ利用人数	利用率
施設入所支援	365日	45人	16,063人	97.8%
生活介護	242日	45人	9,238人	84.8%
短期入所	365日	4人	241人	16.5%

4、提供したサービス内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握・反映し、利用者の意向に沿った支援を提供した
食事の提供	利用者の状態や疾病、ニーズに合った喜ばれる食事の提供、衛生管理の徹底を図った
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能の維持と生活動作の確保、入浴・排泄・身体等の介護を提供した
創作活動	軽作業を通して利用者が目的を持って取り組む事により、集中力や持続力を高められる支援を提供
生活相談	利用者・家族の方々の生活全般の相談援助
健康管理	利用者の健康維持の為、個々の障がい程度や健康状態を把握し、バイタルチェック、定期検診、感染症予防対策に努めた
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災等の非常災害時に備え、防災マニュアルに基づき事前対策や定期防災訓練を実施した
職員の資質の向上（研修の強化）	各種研修会への積極的な参加、施設内での伝達講習会にてサービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を実施した
余暇活動（ボランティア・趣味・教養娯楽）	個々の要望に応じた余暇支援・ボランティアさんとのふれあい活動を提供した
送迎の支援	買い物支援、定期受診などの送迎支援の提供をした

5、班別活動

	項目	活動内容
「いきいき班」	作業活動	園周辺の環境整備、アルミ缶リサイクル、手工芸等の創作活動を提供した
	レクリエーション ドライブ	日帰り外出し、軽運動やレクリエーションを提供した。 コロナ自粛が続いているため、気分転換にドライブへ行く計画を立てていたが、感染再拡大や職員不足等が重なり実施できなかった。
「さくら班」	機能訓練	身体機能、体力、生活能力の維持活動
	生活介護訓練	食事・排泄・移動・整容・保清のための介護を提供した

	健康衛生管理	体温・体重・血圧測定を実施し看護師と連携して健康管理にあたった。汚物処理、感染症対策を職員間で徹底、うがい手洗いを励行した
	レクリエーション	日帰り外出し、軽運動やレクリエーションを提供した。 コロナ自粛が続いているため、気分転換にドライブへ行く計画を立てていたが、感染再拡大や職員不足などが重なり実施できなかった。

6、主な行事

4月	お花見会（あかまつ荘利用者のみ参加） 保護者会総会⇒書面決議開催	10月	南陽会秋祭り⇒中止
5月	障がい者総合体育大会⇒中止	12月	クリスマス会・忘年会 （あかまつ荘利用者のみ参加）
7月	七夕会	1月	団子さし
8月	花火大会（あかまつ荘利用者のみ参加）	〃	新年会
10月	お月見会	2月	節分
11月	収穫祭	3月	ひな祭り会

7、研修

実施月	研修内容
外部研修	
6月	福祉職員キャリアパス対応中堅職員研修（1名）
8月	福祉職員キャリアパス対応初任者研修（2名）
9月	福祉職員キャリアパス対応初任者研修（1名）
10月	安全運転管理者講習会
11月	社会福祉施設における感染症予防対策研修（オンライン研修）
〃	東北地区知的障害者福祉協会職員研修大会 東北フォーラム（オンライン研修）
12月	社会福祉施設栄養士研修（オンライン研修）
内部研修	感染症予防対策研修（オンライン研修）に参加し、学んだ内容について内部研修の場を設定し、全職員に伝達し共有した
自己啓発	講演会や研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供した

8、ボランティア活動

『ボランティア依頼』	コロナウイルス感染防止のため、ボランティアへ協力依頼はしなかった
『ボランティア活動（奉仕活動）』	コロナウイルス感染防止のため、ボランティア活動は実施しなかった

9、環境美化事業

活動時期	活動内容
4月	駐車場清掃・軒下掃除
6月	保護者合同奉仕作業⇒中止
7月	下駄箱清掃（利用者の履物チェック）
9月～10月	職員奉仕作業（草刈り・除草剤まき・園周辺の整理）

11月	保護者合同奉仕作業（クモの巣払い、雪囲い、園周辺の清掃）
12月	大掃除（浴室・トイレ・洗濯場）
その他	屋外の大掃除・トイレ掃除・クモの巣駆除

10、保健衛生

(1) 利用者の健康維持推進	日々の健康状態を把握し、ご家族、病院と連携し利用者が健康で過ごせるように支援した
(2) 感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の体調管理・マスク着用・手指消毒・施設内消毒・行動自粛・面会制限等予防行動に努めていた ・感染症情報を把握し適切な処置・対応と発生防止に努めた ・コロナワクチンについては、接種を希望する利用者・職員全員3回目接種まで終了した
(3) 安全衛生	清潔で快適な生活環境を保ち安全で快適な職場環境を整えた 職員の健康診断を行い生活習慣病の予防に努めた

保健医療機関での診察状況

診療科目	実人員/（人）		延診察日数/（日）		一人当たり平均診療日数	
	入院	入院外	入院	入院外	入院	入院外
内科系疾患	7	27（救外11）	77	149（救外17）	11	5.5
精神科	4	34	265	207	66	6.1
耳鼻科	0	4	0	21	0	5.3
皮膚科	0	6	0	15	0	2.5
婦人科	0	1	0	1	0	1
眼科	0	3	0	4	0	1.3
外科	2	5	50	14	25	2.8
口腔外科	1	1	16	5	16	5
歯科	0	8	0	25	0	3.1
泌尿器科	0	3	0	30	0	10
整形外科	0	7	0	28	0	4
脳神経内科	0	1	0	5	0	5
脳神経外科	0	1	0	10	0	10
計	14	101	408	514	118	61.6

利用者及び職員の定期健康診断の実施状況

<利用者>

期日	実施人員	検査内容	検査機関
R3. 5. 25	15名	乳がん検診	保健衛生協会
R3. 6. 11	11名	子宮がん検診	保健衛生協会
R3. 8. 25	66名	胸部レントゲン	保健衛生協会
R3. 8. 25	65名	心電図	保健衛生協会
R3. 8. 25	66名	血液検査	保健衛生協会
R4. 3. 11	64名	血液検査	保健衛生協会

<職員>

期日	実施人員	検査内容	検査機関
R3. 9. 3	49名	胸部レントゲン	保健衛生協会
R3. 9. 3	49名	心電図	保健衛生協会
R3. 9. 3	49名	血液検査	保健衛生協会
R3. 9. 3	49名	尿検査	保健衛生協会
R3. 9. 3	49名	視覚・聴覚検査	保健衛生協会
R3. 9. 3	39名	便潜血検査	保健衛生協会
R3. 9. 3	26名	胃透視検査	保健衛生協会
R4. 3. 11	13名	胸部レントゲン（夜勤実施者）	保健衛生協会
R4. 3. 11	13名	血液検査（夜勤実施者）	保健衛生協会

1.1、給食管理

① 利用者のニーズにあった、喜ばれる食事の提供。

利用者にとって、「楽しさ」「おいしさ」が感じられる食事提供に努めた。

利用者、個々の状態や疾病に適した食事の提供に努めた。

4月	お花見会（保護者会総会）：中止	10月	秋祭り：中止
5月	子どもの日：ちまき風おこわ	11月	収穫祭：しんごろう、豚汁
6月	ドライブ行事（貯湯槽清掃）・誕生会	12月	誕生会、忘年会&クリスマス会（お弁当）
7月	七夕・土用丑の日	1月	お正月：こづゆ、おせち盛他・団子さし
8月	花火大会	2月	節分料理
9月	受水槽清掃：外注弁当、誕生会	3月	ひな祭り、誕生会

② 個々の咀嚼状況に合わせた食形態の提供

食事形態	人数（R4・3/31 現在）
普通食	24名
きざみ食	6名
ミキサー食	13名
合計	43名

③ 食の安全への取り組み
利用者・職員共に衛生面に心がけ、食中毒・感染症対策に努めた
<実施内容>
●関係職員の月1回の検便検査の実施（10月～3月においてはノロウイルス検査の追加）
●取引業者の自主検査の提出依頼
●毎日の水質検査、食材検収簿の記載、調理員・配膳者の衛生、体調チェック（調理員）等

12、防災

【基本方針】	
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する	
【実施内容】	
<体制整備・減災のための事前対策に努めた>	
①立地条件と災害予測	施設の立地条件の把握と災害の予測について検討した
②災害時体制整備	役割分担、連絡体制を整備した
③情報整理	施設利用者情報を把握した
④基準等の策定	避難の判断、災害に応じた避難方法を検討した
⑤事前準備・安全対策	食糧等備蓄、施設の定期点検
⑥教育・訓練	職員への防災教育、防災訓練を実施した

【年間防災活動】

月	月別防災項目	実施内容
4	防火設備の点検	職員で防災マニュアルの確認・点検 スプリンクラー設置に伴う防火設備の確認
9	避難訓練（通報・避難誘導）	体制整備・避難経路・危険箇所の確認 ・防災用具の点検・減災のための事前対策
12	避難訓練（通報・避難誘導）	避難経路、危険箇所、防災用具の点検
1	避難訓練（通報・避難誘導）	冬期間の避難場所・経路の環境整備
2	避難訓練（通報・避難誘導）	冬期間の避難場所・経路の環境整備
3	避難訓練（通報・避難誘導）	避難場所・経路の環境整備

13、事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止する為に、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、ヒヤリハットレポートを活用し職場内での安全対策強化を進めた
送迎車両の運転	送迎車両の利用時など利用者の移動時に対する安全配慮（車両点検・安全運転）に努めた

令和3年度 下郷作業所ホイップ 事業報告

1、事業概要

就労移行支援	就労に必要な知識や体力を身に着け、一般企業への就労と自立を目指して取り組んだ。
就労継続支援B型	自分達で作ったものを買ってもらうことで、賃金を得る喜びを感じると共に地域に暮らす一員としての役割を知ってもらい、その上で一般就労に結び付けられるような支援を目指し取り組んだ。

2、職員配置

事業所名	職 種	員 数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
下郷作業所 ホイップ	管 理 者	1	1				
	サービス管理責任者	1	1				
	事 務 員	1	1				
	管 理 栄 養 士	1	1				
	就 労 支 援 員	1	1				
	作 業 指 導 員	4			4		臨時職員
	職 業 指 導 員	3			3		臨時・パート職員
合 計		12	5		7		

(令和4年3月末現在)

3、利用者の状況 (令和4年3月末現在)

(1) 利用者数

事業名/性別	男性	女性	合計
就労移行支援 (パン班)	0人	0人	0人
就労移行支援 (農耕班)	0人	0人	0人
就労継続支援B型 (パン班)	4人	4人	8人
就労継続支援B型 (農耕班)	16人	10人	26人

(2) 障害状況

ア 障害名

事業名/種別	身 体	知 的	精 神	そ の 他
就労移行支援	0人	0人	0人	0人
就労継続支援B型	3人	23人	8人	34人

イ 障害支援区分

事業名/区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし
就労移行支援	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
就労継続支援B型	0人	4人	8人	5人	2人	1人	14人

(3) 年間利用状況

事業名/利用項目	開所日数	定員	延べ利用人数	利用率
就労移行支援	240日	6人	0人	0%
就労継続支援B型	240日	26人	5,213人	83.5%

4、提供したサービス内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	個別支援計画の作成、モニタリング、ケース会議を実施した
パン製造・販売活動	下郷物産館、道の駅(下郷・田島)、合庁、病院等への納品。 企業や役所等への販売・納品の他、月1回南郷・只見方面と館岩方面へも納品・販売に出掛けた。
農作業・リサイクル活動 手工芸品の販売 委託業務	物産館へ野菜やよしずの納品。アルミ缶リサイクルの他にペットボトルリサイクルに取り組む。手工芸品や手作りマスク、手編みカゴの店舗販売と「株式会社おくや」より、落花生栽培と殻むき作業の委託と大内宿「三澤屋」よりネギの皮むき作業の委託を受けた。
生活相談	相談センターの協力も得ながら個々の相談に応じる。相談という形に拘らず、作業の空いた時間や利用者の話しやすい時に話しを聞く様にした
健康管理	その日の利用者個々の状態によって、検温、血圧測定等を行ないながら対応した
緊急時・非常災害時における対応と対策(事故対策)	避難訓練の実施、自然災害等における避難経路、危険箇所の確認した
職員の資質の向上 (研修の強化)	法人研修、外部研修、取引業者が行う商品開発勉強会へ参加した 作業内容の充実を図る為、6次化プランナーの方や会津豆倶楽部の代表者との商品開発や、作物の栽培についての話し合いを行ないアドバイスを頂いた
地域交流、ボランティア交流	下郷町主催のいきいきサロンや地域イベントでのパン・手工芸品販売
送迎の支援	湯野上地区、中妻地区、檜原地区、十文字地区、長野地区 田部原地区、田島地区の朝夕の送迎対応した
利用者の工賃について	日額 500 円×実働日数
障害者優先調達推進法に則り、物品や役務の提供	県の障がい者就労施設等物品等調達に登録し、情報提供した。関係機関のホームページにて閲覧可
一般企業への就労移行支援	ハローワーク、就労生活センターふろんていあの協力を得ながら職場実習、実習受け入れ先の開拓。

5、班別活動

	大項目	小科目	活動実績
農作業班	農業	野菜栽培 地域特産品づくり	芋類、葉菜類、玉葱、豆類、花豆、千成ほおずきの栽培
	リサイクル活動	アルミ缶のリサイクル ペットボトル	洗浄、乾燥、潰し後、昭和電工が回収 洗浄・乾燥後、ペットボトルリサイクル機へ
	創作活動	ヨシ編み 手工芸品の販売	物産館、店舗内での販売、地域でのイベントでの販売、オーダーでの販売
	委託業務	落花生栽培等	喜多方市にある製菓業者より委託を受け、落花生の栽培や殻剥きの完成品の納品。大内宿三澤屋ねぎの皮むき、納品。
パン製造班	パン製造	仕込み・分割・成型・焼成・包装・配達	<納品・販売先> 下郷町物産館、下郷保育所、湯野上保育所、あかまつ荘、祇園会館、あたご作業所、合庁、南会津病院、セコニック、さくらフーズ、御蔵入り交流館
	パン販売	接客 販売	南会津役場、南会津社協、下郷町社協、道の駅(田島・下郷) ※飲食店経営許可取得

就労移行支援事業	就労学習・面接支援	履歴書の書き方や面接練習
	一般常識の習得	接客マナーや言葉遣い等
	実習・体験活動支援	援農実習
	求人活動支援	就労支援会議等への参加
	相談支援	就労定着支援

6、主な行事

4月	お花見会(会食のみ)
8月	バーベキュー(外注弁当で代替)
12月	クリスマス会(会食のみ)
2月	節分
2月	団子さし

7、研 修

外部研修	中堅職員研修、感染症予防対策研修
内部研修	法人研修参加

8、ボランティア活動

『ボランティア交流』	公益的取組みによる 買い物支援サービス
『ボランティア活動 (奉仕活動)』	一人暮らしや高齢者、障がい者世帯を対象とした方々の買い物支援を行なった

9、環境美化事業

活動時期	活 動 内 容
4月	施設周辺のゴミ拾い等
8月	店舗、厨房内、食堂、作業室内大掃除
12月	大掃除
その他	施設周辺の除草作業

10、保健衛生

(1) 利用者の健康維持推進	手洗い・うがいの励行 利用者の体調に応じての血圧・体温測定
(2) 感染症対策	手洗い・うがいの励行、利用者・職員の体調チェック 新型コロナウイルス感染防止のため、通所前の体温測定の徹底、利用時のマスク着用及び手洗い・うがいの励行。
(3) 安全衛生対策	手洗い・うがいの励行 厨房作業時の手袋とヘアキャップの着用
(4) 職員の医療的ケアの向上	本体、看護師からのアドバイス

11、食品衛生管理

【基本方針】
○食品衛生管理に細心の注意を払う ○食中毒防止のための衛生管理の徹底と事故防止対策の強化
【内容】
① 食の安全に取り組んだ 利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努めた <実施内容> 手洗い・うがい・消毒の励行、マスク着用の徹底、利用者・職員の体調確認、体調不良時の対応、衛生管理の徹底、トイレ掃除の励行

12、防 災

【基本方針】
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する
【内容】
避難訓練、消防署の立ち入り調査、職員による避難誘導の確認、避難誘導時の危険箇所の確認

【年間防災活動】

月	月 別 防 災 項 目	実 施 内 容
4	厨房内の機材点検	業者のメンテナンスチェック
5	職員の避難訓練	自然災害を含めた、地区の避難場所と避難経路の確認
6	避難訓練	非常口の確認
8	厨房内の機材点検	業者のメンテナンスチェック
9	消防署立ち入り調査	消防署員による非常ベル等の点検と確認
11	暖房器具点検	暖房器具の使用前の安全点検
3	暖房器具の点検と掃除	職員による確認と掃除

13、事故防止

実 施 項 目	活 動 内 容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止する為に、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を図った。
送迎バス等車両の運転	車両の点検、送迎担当職員の安全確認に努めた送迎車両運転者講習会への参加。

令和3年度 地域生活援助すみれ荘事業報告書

1、事業所概要

(1) 場 所 共同生活住居5ホーム

共同生活援助	すみれ荘	定員	5名	南会津郡下郷町大字湯野上字居平乙836-3-2
共同生活援助	たんぽぽ荘	定員	6名	南会津郡南会津町田島字田部原41-2
共同生活援助	ひまわり荘	定員	5名	南会津郡下郷町大字豊成字檜原2489
共同生活援助	いちごハウス	定員	5名	南会津郡南会津町田島字北下原31-2
共同生活援助	さくら荘	定員	3名 (現在は休止中)	南会津郡南会津町田島字北下原31-2

(2) サービス内容・定員 介護サービス包括型事業（共同生活援助事業） 定員24名

介護サービス包括型事業（共同生活援助事業）	自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況に応じて共同生活を送る居住において、入浴や排泄、食事、洗濯、掃除などの家事援助、生活に関する相談を提供した。
-----------------------	--

(令和4年3月末現在)

2、職員配置

事業所名	職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
すみれ荘	管 理 者	1		1			
	サービス管理責任者	1		1			
	生 活 支 援 員	2		2			
	世 話 人	4			4		非正規職員：7時間勤務
合 計		8		4	4		

(令和4年3月末現在)

3、利用者の状況（令和4年3月末現在）

(1) 利用者数

事業名/性別	男性	女性	合計
すみれ荘	3名	0名	3名
たんぽぽ荘	6名	0名	6名
ひまわり荘	5名	0名	5名
いちごハウス	0名	4名	4名
さくら荘(休止中)	0名	0名	0名

(2) 障害状況

ア 障害名

事業名/種別	身体	知的	精神	その他
すみれ荘	0名	2名	1名	0名
たんぽぽ荘	1名	6名	0名	0名
ひまわり荘	0名	3名	2名	1名
いちごハウス	0名	3名	1名	0名
さくら荘(休止中)	0名	0名	0名	0名

(重複障害含む)

イ 障害支援区分

事業名／区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし
すみれ荘	0名	1名	0名	0名	0名	0名	2名
たんぽぽ荘	0名	3名	0名	1名	0名	0名	2名
ひまわり荘	0名	2名	2名	0名	0名	0名	1名
いちごハウス	1名	0名	2名	0名	0名	0名	1名
さくら荘（休止中）	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

(3) 年間利用状況

事業名／種別	開所日数	定員	延べ利用人数	利用率
すみれ荘	366日	5名	1,342名	73.3%
たんぽぽ荘	366日	6名	2,196名	100.0%
ひまわり荘	366日	5名	1,779名	97.2%
いちごハウス	366日	5名	1,464名	80.0%
さくら荘（休止中）				

※さくら荘3名は9月よりあかまつ荘に入所となったことで、利用者不在となりホーム自体を休止した

4、提供したサービス内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握・反映し、利用者及び家族の意向に沿った支援を提供した。
食事の提供	利用者の状態や疾病、ニーズに合った喜ばれる食事を提供し、衛生管理の徹底を図った。
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能維持と生活動作の支援、入浴・排泄・身体等の介護を実施した。
夜間支援体制	夜間の連絡体制を確保し（あかまつ荘、サービス管理責任者専用携帯、警備会社委託）、安全な生活を提供した。
生活相談	利用者や家族の方の生活全般の相談援助を実施した。
健康管理	利用者の健康維持のため、個々の障がい程度や健康状態を把握し、バイタルチェック、定期健診、感染症予防、ホーム内の消毒に努めた。
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災・地震・水害等の非常災害時に備え、防災マニュアルの確認、変動式火災報知器を設置した。
職員の資質向上 （研修の強化）	各種研修会への積極的な参加や施設内での伝達講習会等にてサービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を計画的に実施した。支援会議やスタッフ会議の月2回の会議で諸問題に対する世話人間の共通認識を図った。
地域交流 （地域住民との連携）	地域行事や各活動に積極的に参加し、住民との交流を通して障がいへの理解が深まるよう努めた。
余暇活動	余暇時間について、有意義な過ごし方ができるよう支援した。
送迎支援	買い物支援や定期受診等において、送迎支援の提供を行った。

5、主な行事（各月予定していた行事は新型コロナウイルス感染症防止のため変更した。）

6月	ドライブ行事	2月	節分（豆まき）
12月	各ホーム内でクリスマス会	3月	ドライブ行事
1月	初売り支援		

※ドライブは南会津管内限定で、食事は弁当を購入し公園等で頂いた。

クリスマスは各ホームにてケーキを購入し、行事的な食事を提供し実施した。

※利用者の誕生日にはケーキと利用者の食べたいものをリクエストしてもらい各ホームで誕生日会を行った。

6、研修

外部研修	①障がいや介護の理解や知識を得るための研修
内部研修	② 各種研修会に参加した内容の伝達講習会の実施 ② 月1回の会議を通して日々の支援・業務の進め方の確認及び振り返り
自己啓発	講演会や、研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供

7、ボランティア活動

『ボランティア交流』	地域行事やイベントに積極的に参加して、地域住民との交流を通して障がい者への理解が深まるよう努めた。
『ボランティア活動（奉仕活動）』	周辺の環境美化（ゴミ拾い）に努めた。

8、環境美化事業

活動時期	活動内容
4月	各ホーム内清掃、周辺清掃
9月	各ホーム内清掃、周辺清掃
12月	各ホーム内清掃、周辺清掃
その他	各ホーム内清掃・トイレ掃除は、世話人・利用者（当番制）で実施した。 各ホーム周辺の除草、網戸目隠しの設置を行った。

9、保健衛生

利用者の健康維持を推進	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の健康状態を把握し、ご家族と連携して利用者が健康で過ごせるように支援した。 ○ご家族、病院との連携を密にし、体調の変化に応じて速やかな対応に努めた。 ○年2回の利用者への健康診断（血液検査、胸部レントゲン検査等）を実施し、診断結果の情報を利用者へ情報提供すると共に、必要に応じて看護師や嘱託医より結果説明及び指導を受けた。
感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> ○流行の感染症情報を把握し、適切な処置・対応（予防接種の実施、感染症マニュアルに沿ったケア等）を実施し、各ホーム内での発生予防と消毒に努めた。 ○感染症発生時には、発生状況の把握、感染症による重症化・合併症の予防に努めた。

安全衛生の推進	○清潔で快適な生活環境を保ち、安全で快適な職場環境を整えた。 ○職員の健康診断を行い、生活習慣病の予防に努めた。
職員の医療的ケアの向上	○応急処置、感染症予防対策マニュアルを配置し、保健衛生に関する知識・技術の向上を目指した。

10、給食管理

【基本方針】
○利用者個々の状態や疾病に適した食事を提供する。 ○利用者の希望に沿った喜ばれる食事を提供する。 ○食中毒防止のための衛生管理の徹底と事故防止対策の強化に努める。
【内容】
①楽しみのある食事を提供した。 ・利用者の要望に応え、「楽しさ」「おいしさ」が感じられる食事の提供に努めた。 ・季節食や行事食を通して、季節の味覚や地元の味を感じられるように努めた。 ・利用者の誕生会では、希望食を取り入れ楽しんで食事の時間を過ごせるよう心掛けた。 ②一人ひとりの健康状態に合わせた食事を提供した。 ・利用者一人ひとりの状況に合わせた食事形態を提供し、糖尿病や高血圧の利用者にも食べやすいメニューを提供した。 ③食の安全に取り組んだ。 ・利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努めた。

11、防災

【基本方針】
○災害（火災、地震、風水害等）の際に、速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行い、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する。
【内容】
・防災設備や連動式火災報知器の点検等は行う事ができたが、ホーム毎の避難訓練は行う事ができなかった。町内の災害情報等を常に把握できるようにした。 ・防災マニュアル及び利用者への防災知識の説明を実施した。

【年間防災活動】

月	月別訓練内容	実施内容
4月	防災マニュアルの点検・整備 防火設備の確認	職員で防災マニュアルの確認、防火設備の点検、非常口の確認
11月	消防署立ち入り調査	体制整備、避難場所・避難経路の確認、防火用具の確認

12、事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止するために、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、ひやり・はっとレポート等を活用し職場内での安全対策強化を進めた。

緊急時等における対応方法	利用者に急変が生じた場合、速やかに医療機関へ連絡を行うなどの必要な措置が講じられるよう対応した。
夜間支援体制	夜間及び深夜の時間帯に利用者に緊急の事態が生じた場合、利用者等の呼び出しに速やかに対応できるよう連絡体制（あかまつ荘、サービス管理責任者、警備会社委託）を確保するとともに、緊急時の連絡先や連絡方法を見やすい場所に提示した。
送迎バス等車両の運転	受診時の送迎時や買い物支援時等、利用者の移動時等に対する安全配慮（車両点検、安全運転）に努めた。

令和3年度 只見地域活動支援センターじねえんと事業報告書

1、事業概要

地域活動支援センターⅢ型	地域活動支援センター「じねえんと」は障害者総合支援法に基づいた市町村が実施する、地域生活支援事業の委託を受けて設置されたものである。地域で生活する障がい者の自立した日常生活、社会生活を実現するための相談や支援を行うとともに、生産活動や創作的活動及び地域交流活動、日常生活活動への支援を行うことで、障がい者の自立及び社会参加の促進を図る。
--------------	--

2、職員配置

事業所名	職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
只見地域活動支援センターじねえんと	所 長	1		1			(こまどり荘サビ管兼務)
	作 業 指 導 員	2	2				非正規職員
合	計	3	2	1			

(令和4年3月末現在)

3、利用者の状況 (令和4年3月末現在)

(1) 利用者数

	男性(児童)	男性(成人)	女性(児童)	女性(成人)	合計
只見地域活動支援センターじねえんと	1人	15人	0人	15人	31人

(2) 障害状況

ア 障害名 (重複者含む)

	身体	知的	精神	その他
只見地域活動支援センターじねえんと	3人	20人	13人	1人

イ 年齢層

	0～5歳	6～12歳	13～18歳	19～30歳	31～50歳	51～65歳	65歳以上	平均年齢
只見地域活動支援センター	0人	1人	0人	4人	15人	7人	4人	44歳

(3) 年間利用状況

	開所日数	定 員	延べ利用人数	利用率
只見地域活動支援センターじねえんと	241日	20人	1,847人	38%

4、提供したサービス内容

活 動 名	活 動 内 容
軽作業	台巾作りを中心に手差し、バンダナキャップ、エコバッグ等の裁縫やアクリルたわし作りを行なった。
花壇管理委託業務	電源開発(株)より委託を受け、6月～10月までの間、月に一度の展示館周りの花壇の維持管理(草むしり、追肥等)を行なったが、今年度は展示館外壁工事のため途中で中止となった。
凍み餅の製造・販売	ユネスコエコパーク伝承産品事業に参画する。前年度の温暖化のため仕込みができず在庫がなかったため、今年度は一時中止とした。
軽スポーツ	毎朝の日課として健康体操に取り組む。天気の良い日にはウォーキング

	を行い、室内ではボールを使ったゲームや輪投げ等で体を動かした。
学習活動	調理実習やカラオケ、塗り絵、貼り絵、カード合わせ等を行い、個々の能力に合わせた内容を取り入れて、皆で楽しく活動を行った。
利用者交流	南会津郡内のイベントや交流行事が新型コロナウイルスの影響で中止となり交流の場を持てなかった。
地域交流	今年度は只見町の行事が新型コロナウイルスの影響で軒並み中止となり、出店の場がなかった。
就労支援	就労に関する相談や人間関係等に関する相談への支援を行った。
相談支援	来所してもらったり電話での相談受付を行ったり、みなみあいづ相談支援センターと連携して支援し、解決策を検討した。
健康管理	毎朝検温実施し新型コロナウイルス感染防止に努めた。毎週月曜日と金曜日の朝にバイタルチェックを実施した。(体重、血圧)
緊急時・非常災害時における対応と対策(事故対策)	緊急時や災害時の避難方法について、必要に応じて利用者に説明を行い、消防署より指導を受け、同建物内の只見町社協等と連携を図り、避難誘導や対応について統一性を図った。
職員の資質の向上(研修の強化)	職員の資質向上のためのチェックリストの活用や研修会等へ参加し、それを基にスタッフ会議等で話し合い、意識の共有化を図った。
送迎の支援	町外からの利用者、小中学生の放課後等利用の際の送迎を実施した。
ボランティア育成	毎月ボランティアの方との交流行事を取り入れ、障がい者に対しての理解促進と支援体制強化への協力を図った。

5、主な行事

5月	大掃除・お花見会	10月	社会見学・食事会
6月	花壇管理(花植え) ドライブ行事	11月	只見町文化祭出店 大掃除
8月	バーベキュー会 福祉の里夏まつり大会出店	12月	クリスマス会
		3月	朝日のいいもの集めちゃった市出店

※上記予定であったが新型コロナの関係で花壇管理とクリスマス会以外実施できず。その他として9月にお月見会、1月に団子さし、2月に節分豆まき実施する。

6、研修

外部研修	分野交流研修・障がい福祉研修
内部研修	法人内部研修

7、環境美化事業

活動時期	活 動 内 容
5月	駐車場掃除、エアコンフィルター掃除、ガラス磨き、くもの巣取り等を行った。
10月	花壇管理業務終了後、展示館周りの清掃やゴミ拾いを実施した。
11月	エアコンフィルター掃除、駐車場の落ち葉拾い、側溝の土砂上げ等を行った。

8、保健衛生

(1) 利用者の健康維持推進	毎週月曜日と金曜日の朝礼後、バイタルチェックとして体重、血圧測定を行い、利用者の健康管理の把握に努めた。
(2) 感染症対策	手洗いうがいの実施、登所時や外出後は手を消毒してから入ることを心がけた。

9、食品衛生管理

【活動内容】	
①調理実習	新型コロナ感染対策のため中止とした。
②ボランティア調理実習	新型コロナ感染対策のため中止とした。
③地域イベント出店	福祉の里夏まつり（8月）、只見町文化祭（11月）、朝日のいいもの集めちゃった市（3月）に出店し、五目ふかしを販売予定であったが、新型コロナの関係でイベントが中止となった。
<実施内容>	
●調理実習等で食品を扱う際は、利用者・職員・ボランティアさんに、食中毒や感染症予防のため、エプロン、マスク、三角巾、手袋の着用を徹底した。	

10、防災

【防災活動】

月	実施項目	活動内容
5月	火気器具の確認、避難時の方法説明	避難経路、器具の設置場所の確認、器具の使用状況や不具合等の確認、利用者への説明等を行った。
10月	危険箇所の確認、修繕	室内、通路、廊下等の落下物や転倒物の点検、危険箇所や破損状況を確認し、必要な部分については点検及び修繕の検討を図った。

※避難訓練等については、只見町社協と合同で立案・実施するよう検討した。

11、事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	危険箇所の把握と、修繕を必要とされる箇所については町へ協議し、修繕を依頼した。
送迎バス等車両の運転	送迎業務を行う職員に対しての安全運転と、全座席のシートベルト着用の徹底を周知した。

令和3年度 みなみあいづ障がい者相談センター事業報告書

1. 事業概要

障がい児（者）地域療育等支援事業	【 県委託事業 】障がい児（者）のライフステージに応じた療育・相談等の体制整備、各種福祉サービスの提供の援助や調整等を行い、障がい児（者）及びその家族の福祉の向上を図る。
市町村相談支援事業	【 南会津郡4町村委託事業 】障がい児（者）福祉に関する様々な問題について、本人やご家族等からの相談に応じ、情報の提供や助言、その他の必要な支援を行うとともに、障がいのある方の権利擁護のに努める。
計画相談支援事業	【 サービス等利用計画作成 】障がい福祉サービスの利用者に対して、指定相談事業者（当事業所）がサービス等利用計画書を作成し、サービスの利用調整を行う。事業所サービスが計画に基づき提供されているかをモニタリングにて確認し報告を行う。
一般相談支援事業	【 地域移行 】施設等入所者又は精神科病院等に入院している精神障がい者に対して、住居の確保やその他の地域生活の活動に関する相談支援。 【 地域定着支援 】地域で単身生活する障がい者等の常時の連絡体制を確保するとともに、地域生活が適切に継続できるよう関係機関と連携しながら支援にあたる。
ペアレントプログラム	【 県委託事業 】障がい児の家庭での療育に関する理解やその手法について、講師を招き年間6回の講座とフォローアップ研修を開催。家庭における適切な子育ての支援方法を身につけていくための事業を実施する。

2. 職員配置

事業所名	職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
みなみあいづ障がい者相談センター	管理者	1		1			あかまつ荘施設長兼務
	相談支援アドバイザー	1		1			相談支援アドバイザー兼
	相談支援専門員	1	1				相談支援専門員 1名
	事務兼相談員	1	1				臨時職員
	相談員	1	1				パート職員
合 計		5	3	2			

(令和 4年 3月末現在)

3. 実績件数の状況 (令和 4年 3月末現在)

令和 3年度 障がい児(者)地域療育等支援事業 実績件数				
支援種別	電話	訪問	来所	合計 (件)
I 市町村相談支援体制整備	30	37	14	81
II 専門的な相談支援・指導	118	43	27	188
合 計 (件)	197	166	8	269
令和 3年度 市町村相談支援事業 実績件数 単位：件				
町村名	上半期	下半期	年間合計	
南会津町	162	160	322	

下郷町	106	92	198
只見町	91	138	229
桧枝岐村	0	10	10
合計	359	400	759

令和 3年度 計画・地域相談支援 実績件数 単位：件													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	23	19	22	27	36	25	15	18	23	23	40	22	293
一般相談	0	4	1	2	1	3	0	0	0	0	0	0	11
合計	23	23	23	29	37	28	15	18	23	23	40	22	304

4. 提供したサービス内容

	活動名	活動内容
1	地域の事業所や行政機関等との連携	多種多様な機関・事業所との連携を図りながら、専門的・個別的な相談及び助言を行い、管内の支援体制の整備に努めた。
2	計画相談作成の支援 (障がい児・者計画相談)	今年度の計画相談年間作成件数は件の実績となった。(前年度の計画相談年間作成件数は286件)
3	地域移行・地域定着 (一般相談)の実施	地域移行の実績はないが、病院などと連携しながら町村委託相談事業や計画相談事業の範囲にて対応した。地域定着においては1名の利用があり、実績としては11件となっている。
4	自立支援協議会の活動への参加・協力	県や広域の自立支援協議会委員として参加し、広域の部分では事務局としての活動も行った。一部町村の委員も受託しているが会議が実施されなかったため参加はなかったものの、事務局へ地域の課題などの提言や情報提供は行なっている。
5	県委託事業として障がい児(者)地域療育等支援事業による活動	福島県7圏域の取り組みの把握と、管内の関係者会議に出席し状況確認と報告をした。町村や事業所の課題の確認や助言、困難ケースへの助言やサービス調整など、より専門性の高い相談支援に関する業務を実施している。
6	県委託事業としてペアレントプログラム事業・研修会の実施	今年で7回目となった「ペアレントプログラム研修(子育ての手法を保護者・支援者で学ぶグループプログラム)」を9月～3月で合計7回(フォローアップ研修を含む)開催した。
7	南会津郡4町村委託相談事業の丁寧な対応	障がい福祉に関する各種相談や情報提供及び助言等に取り組んだ今年度の年間実績件数は759件となった。(前年度の年間実績件数は、1,232件)
8	緊急時・非常災害時における対応と対策(事故対策)	火災・地震・水害等の非常災害時に備え、防災マニュアルや下郷町防災マップを確認した。避難訓練は実施できなかった。
9	職員の資質の向上 (研修の強化)	各種研修会への積極的な参加、会津圏域相談支援専門員協会勉強会、精神障がい者ワーキンググループへの定期参加や南会津相談支援連絡会を企画し、多職種による事例検討会や情報交換を実施し、地域福祉の向上を目指した。
10	個人情報の取り扱い	相談業務により知り得た個人情報を厳重に取り扱った。

5. 主な活動

自立支援協議会の活動	活動内容	実施時期
運営会議	事務局として運営への協力と調整	6月・2月
自立支援協議会全体会	書面決済を取りまとめ文書で報告	6～7月
行政課題	構成委員として参加	8月、10～12月、2月
人材育成	講演会を企画し実施までの調整を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止	12月～2月
地域課題	農福連携についての講演会の実施と開催に係る調整	11月

6. 研修

外部研修	研修内容
4月	F-ACTORの会（アウトリーチ）Webセミナー
5月	特別支援教育体制促進協議会
6月	相談アドバイザー連携会議、精神保健福祉ワーキンググループ（Zoom）、福島県障がい者相談支援従事者専門コース別研修
8月	基幹相談支援センター検討会、精神保健福祉ワーキンググループ（Zoom）、事例検討会、相談支援ワーキンググループ（Zoom）
9月	南会津要保護児童対策協議会
10月	福島県自立支援協議会運営会議、基幹相談支援センター検討会（Zoom）、相談支援ワーキンググループ（Zoom）、発達障がい児支援者スキルアップ研修、会津・南会津圏域精神障がい者地域移行圏域ネットワーク強化研修（Zoom）南会津地域連携会議、相談支援アドバイザー連携会議
11月	基幹相談支援センター検討会、南会津居宅介護支援専門員研修会、南会津地方地域自立支援協議会地域課題研修会
12月	南会津圏域精神障がい者地域移行圏域ネットワーク強化研修、基幹相談支援センター検討会、相談支援ワーキンググループ（Zoom）、精神保健福祉ワーキンググループ（Zoom）、相談支援アドバイザー連携会議
1月	成年後見制度ニーズ調査に向けた事前研修会（Zoom）
2月	特別支援教育体制促進協議会（Google）、基幹相談支援センター検討会（Zoom）
3月	相談支援ワーキンググループ（Zoom）、精神保健福祉ワーキンググループ（Zoom）
内部研修	研修会などの参加後に伝達講習を行い、情報提供や内容の共有を行った。
自己啓発	自主的な研修会等への参加

7. ボランティア活動

環境美化活動に併せ、地域での奉仕活動として事業所周辺のゴミ拾いを実施。（4月、9月）

8. 環境美化事業計画

活動時期	活動内容
4月、9月、12月	事務所内・外の清掃（ボランティア活動の奉仕活動と連動）

9. 保健衛生

感染症予防対策・安全衛生	新型コロナウイルス感染予防に努めマスクの着用や手指消毒、事業所内の空気清浄などを行うとともに、訪問時の対策や感染拡大時の対応調整を図った。その他インフルエンザ予防接種などを実施した
--------------	--

10. 防災

災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策として防災マニュアルを確認した。
--

11. 事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	毎朝の業務報告内で必要に応じて状況の確認や検討を図り、対応への配慮を行った。
緊急時等における対応方法	訪問時の緊急対応マニュアルについて確認した。
夜間相談支援体制	専用携帯電話2台にて夜間相談支援に対応した。
車両の運転	安全運転に心掛け、車両整備を定期的実施した。

令和3年度 こまどり荘事業報告書

1、事業所概要

(1) 場 所

共同生活援助 こまどり荘 定員 7名	福島県南会津郡只見町大字長浜字久保田 1 7
--------------------	------------------------

(2) サービス内容・定員 介護サービス包括型事業（共同生活援助事業） 7名

介護サービス包括型事業（共同生活援助事業）	自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況に応じて共同生活を送る居住において、入浴や排泄、食事、洗濯、掃除などの家事援助、生活に関する相談を提供した。
-----------------------	--

2、職員配置

事業所名	職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
こまどり荘	管 理 者	1		1			サービス管理責任者兼務
	生 活 支 援 員	1	1				正規職員
	世 話 人	1			1		非正規職員：7時間勤務
合 計		3	1	1	1		

(令和4年3月末現在)

3、利用者の状況（令和4年3月末現在）

(1) 利用者数

事業名／性別	男性	女性	合計
こまどり荘	4名	2名	6名

(2) 障害状況

ア 障害名

事業名／種別	身体	知的	精神	その他
こまどり荘	2名	3名	1名	0名

(重複障害含む)

イ 障害支援区分

事業名／区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし
こまどり荘	0名	0名	2名	3名	0名	0名	1名

(3) 年間利用状況

事業名／種別	開所日数	定員	延べ利用人数	利用率
こまどり荘	365日	7名	1,556名	60.9%
こまどり荘体験入所	365日	1名	30名	8.2%

4、提供したサービス内容

活 動 名	活 動 内 容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握し、利用者及び家族意向に沿った支援の提供を行った。
食事の提供	利用者の状態や疾病、ニーズに合った食事を提供し、衛生管理の徹底を図った。
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能維持と生活動作の支援、入浴・排泄・身体等の介護を実施した。

夜間支援体制	夜間の連絡体制を確保し（あかまつ荘、サービス管理責任者、関係職員、警備会社委託）、安全な生活が送れるよう配慮した。
生活相談	利用者や家族の方の生活全般の相談援助を行った。
健康管理	利用者の健康維持のため、障がい程度や健康状態を把握し、バイタルチェック、定期健診、感染症予防に努めた。
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災・地震・水害等の非常災害時に備え、防災マニュアルに基づき事前対策や定期防災訓練を実施した。
職員の資質向上 （研修の強化）	各種研修会への積極的な参加や施設内での伝達講習会等で、サービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を計画的に実施した。定期的にスタッフ会議を実施した。
地域交流	地域での行事や各活動に積極的に参加し、住民との交流を通して障がいへの理解が深まるよう努めた。
余暇活動	余暇時間について、有意義な過ごし方ができるよう支援した。
送迎支援	買い物支援や定期受診等において、送迎支援の提供を行った。

5、主な行事

6月	ドライブ旅行（じねえんと行事参加）	10月	ドライブ行事（柳津方面）
7月	にこにこあいの集い参加	11月	只見町文化祭参加
	田島祇園祭見学	12月	クリスマス会（じねえんと行事参加）
8月	お盆の夕食	1月	新年会（顔合わせ会）
9月	買い物訓練・夕食	2月	只見雪まつり参加
10月	南陽会秋まつり参加		

※上記内容で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でほとんど実施できず、買い物訓練等は受診時に実施するなど対応した。

6、研修

外部研修	①障がいや介護の理解や知識を得るための研修
内部研修	①各種研修会に参加した内容の伝達講習会の実施 ②業務チェックシートを使用し、日々の支援・業務の進め方の確認及び振り返り
自己啓発	講演会や、研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供

7、ボランティア活動

『ボランティア交流』	地域行事やイベントに積極的に参加して、地域住民との交流を図ると共に、障がい者への理解を深めてもらうよう努めた。
『ボランティア活動（奉仕活動）』	周辺の環境美化（ゴミ拾い）に努めた。

8、環境美化事業

活動時期	活動内容
12月、3月	冬囲い設置、冬囲い外し
その他	周辺清掃、ホーム内清掃・トイレ掃除は、職員及び利用者（当番制）で実施

9、保健衛生

(1) 利用者の健康維持を推進	○日々の健康状態を把握し、ご家族と連携し、利用者が健康で過ごせるように支援した。 ○ご家族、病院との連携を密にし、体調の変化に応じて、速やかな対応に努めた。 ○利用者の健康診断（血液検査、胸部レントゲン検査等）・受診結果を確認し、利用者本人へ情報提供すると共に、必要に応じて看護師や嘱託医より結果説明及び指導を受けた。
(2) 感染症対策	○流行の感染症情報を把握し、適切な処置・対応（予防接種の実施、感染症マニュアルに沿ったケア等）を実施し、ホーム内での発生予防に努めた。 ○感染症発生時には、発生状況の把握、感染症による重症化・合併症の予防に努めた。
(3) 安全衛生の推進	○清潔で快適な生活環境を保ち、安全で快適な職場環境を整えた。職員の健康診断を行い、生活習慣病の予防に努めた。
(4) 職員の医療的ケアの向上	○応急処置、感染症予防対策、保健衛生に関する知識・技術の向上を目指した。

10、給食管理

【基本方針】

- 利用者個々の状態や疾病に適した食事を提供する。
- 利用者の希望に沿った喜ばれる食事を提供する。
- 食中毒防止のための衛生管理の徹底と事故防止対策の強化に努める。

【内容】

- ①楽しみのある食事を提供した。
 - ・利用者の要望に応え、「楽しさ」「おいしさ」が感じられる食事の提供に努めた。
 - ・季節食や行事食を通して、季節の味覚や地元の味を感じられるように努めた。
- ②一人ひとりの健康状態に合わせた食事を提供した。
 - ・利用者一人ひとりの状況に合わせた食事形態を提供し、ソフト食等の提供に努めた。
- ③食の安全に取り組んだ。
 - ・利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努めた。

※給食については、令和3年9月より配食サービス（クックデリ）を利用している。

11、防災

【基本方針】

- 災害（火災、地震、風水害等）の際に、速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行い、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する。

【内容】

- ・防災無線を設置し、町内の災害情報等を常に把握できるようにした。
- ・防災マニュアル及び防火設備の点検・整備、利用者への防災知識の説明を実施した。

【年間防災活動】

月	月別訓練内容	計画
4月 10月	防災マニュアルの点検・整備 防火設備の確認 利用者への説明	職員及び消防署による防災マニュアルの確認・点検、防火設備の点検 非常口の確認、非常ベルの確認
7月 1月	避難訓練	体制整備、避難場所・避難経路の確認、 防火用具の確認

12、事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止するために、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、ひやり・はっとレポート等を活用し職場内での安全対策強化を進めた。
緊急時等における対応方法	利用者に急変が生じた場合、速やかに医療機関へ連絡を行う等の必要な措置が講じられるよう対応した。
夜間支援体制	夜間及び深夜の時間帯に、利用者に緊急の事態が生じた場合、利用者等の呼び出しに速やかに対応できるよう、連絡体制（あかまつ荘、サービス管理責任者、警備会社委託）を確保するとともに、緊急時の連絡先や連絡方法を見やすい場所に提示した。
送迎バス等車両の運転	事業所への出退勤時や受診時の送迎時など、利用者の移動時に対する安全配慮（車両点検、安全運転）に努めた。